

ワークショップ

短歌で読む・詠む

「わたし」の「からだ」

「わたし」のものでありながら、さまざまに心をはみだす「からだ」。その経験や変化は語られにくく、自分ですら見過ごしてしまうことも。そんな「からだ」をめぐる、ささやかな感覚を、「短歌」の力を借りて表現してみませんか。

第1回は多様な世代の参加者で「からだ」にまつわる短歌を味わい、その作り方を学びます。第2回は35歳ぐらいまでの近い世代の参加者で、自作の短歌を読みあい、経験や感覚を分かちあいます。性別不問。短歌初心者の方も大歓迎です。

第1回

7/15(土) 14:00-15:45 どなたでも：定員40名

「からだ」を詠んだ短歌を味わう

講師がセレクトした「からだ」について詠んだ短歌の数々を、講義+参加者同士のワークで丁寧に味わいます。日々の感覚をもとに短歌を詠む(作る)方法も学びます。

第2回

7/29(土) 14:00-16:00 35歳ぐらいまでの方 定員：20名

作った短歌を読みあう

「からだ」をテーマにした自作の短歌を1~2首持ち寄り(5日前までに提出)、参加者同士で読みあい、感じたことを話しあいます。ブラッシュアップに向けた講師のコメントも!

会場

京都市男女共同参画センター ウイングス京都
地下鉄四条駅・阪急烏丸駅・地下鉄烏丸御池駅より徒歩約5分

こんな方にオススメ!

- ・短歌に興味がある/自分で作った短歌を誰かと読みあいたい
- ・ジェンダーやセクシュアリティに関心がある
- ・からだやジェンダーの話題を話せる同世代の仲間が欲しい(第2回)

講師：大森 静佳(歌人)

1989年岡山市生まれ、京都市在住。2010年、大学在学中に第56回角川短歌賞を受賞。歌集に『てのひらを燃やす』(角川書店)、『カミーユ』(書肆侃侃房)、『ヘクタール』(文藝春秋)、評論集に『この世の息 歌人・河野裕子論』(角川書店)。「塔」短歌会編集委員。笹井宏之賞選考委員。京都精華大学非常勤講師。「京都新聞」「東京新聞」などで短歌コラムを連載中。



「からだ」があることで嬉しくおもう日もあれば、ままたらなさにくるしむ日もある。短歌はごく個人的な気づきや痛みを受けとめてくれる器です。ぜひ一緒に「からだ」と対話しましょう。(講師より)

お申込み



オンラインストアよりチケット購入

※先着順にて受付。定員になり次第締切
※別の申込み方法をご希望の方はお問い合わせを

保育あり

申込時備考欄に「保育希望」と記入
※有料

参加費

全2回参加(35歳ぐらいまでの方) 2,500円
第1回のみ参加(どなたでも) 1,500円

主催・お問い合わせ：(公財)京都市男女共同参画推進協会 事業企画課

TEL: 075-212-8013 FAX: 075-212-7460
jigyo@wings-kyoto.jp



ホームページ

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262
京都市男女共同参画センター ウイングス京都内
《開館時間》 月~土 9:00~21:00(水曜休) 日・祝 9:00~17:00



MAP

※個人情報の取り扱いについて

申込者の住所・氏名・連絡先などの個人情報は申込みいただいた講座・催しに関する事務連絡および各種事業のご案内などに使用し、他の目的には一切使用いたしません。